

. 研究報告会・小脳研究会・分科会プログラム

運動失調症の医療基盤に関する調査研究班
疫学分科会 議事次第

日時：平成 29 年 10 月 24 日（火）11:30-15:00

場所：八重洲倶楽部 第 8 会議室

東京都中央区八重洲 2 丁目 1 番 八重洲地下街地下 2 階

TEL：03-3275-0801

出席：水澤 英洋 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 理事長
金谷 泰宏 国立保健医療科学院健康危機管理研究部 部長
大西 浩文 札幌医科大学医学部公衆衛生学講座 准教授
佐藤 洋子 防衛医科大学校防衛医学研究センター 助教
欠席：高橋 祐二 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院神経内科 部長

議事

1. 研究代表者挨拶
2. 日本および世界における脊髄小脳変性症、多系統萎縮症の疫学的実態
3. 当研究班における調査研究の方針
4. その他

運動失調症の医療基盤に関する調査研究班
MSA 診断基準分科会 議事次第

日時：平成 29 年 10 月 30 日（月）9:00-11:00

場所：WTC コンファレンスセンター RoomG

〒105-6103 東京都港区浜松町 2 丁目 4 番 1 号 世界貿易センタービル 3 階

TEL:03-3435-3801

出席：水澤 英洋 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 理事長
桑原 聡 千葉大学大学院医学研究院 教授
佐々木秀直 北海道大学 特任教授
伊藤 瑞規 名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学 講師
高橋 祐二 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院神経内科 部長

議事

2. 研究代表者挨拶
3. 多系統萎縮症の指定難病の診断基準の検討
4. その他

資料

脊髄小脳変性症（痙性対麻痺を含む）および多系統萎縮症に関する指定難病の現診断基準

「運動失調症の医療基盤に関する調査研究」

研究報告会

1日目 : 平成 30 年 1 月 11 日(木) 13 時 00 分 ~ 17 時 00 分

時間	演題番号	研究者氏名	演題名	発表者
13:00	研究代表者 挨拶 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 水澤 英洋			
13:05-13:15	来賓 挨拶 厚生労働省健康局難病対策課 ・ 国立保健医療科学院 FA 事務局			
.疫学・診断基準		座長 : 桑原 聡		
13:15	1-1	金谷 泰宏	特定疾患治療研究事業により登録された運動失調症の症例解析について	金谷 泰宏
13:30	1-2	大西 浩文	運動失調症医療基盤班疫学分科会の立ち上げと今後の活動について	大西 浩文
13:45	1-3	吉田 邦広	特発性小脳失調症 (idiopathic cerebellar ataxia, IDCA) 63 名の follow up	吉田 邦広
13:55	1-4	高尾 昌樹	脳表ヘモジデリン沈着症の診断基準の構築の実態調査	大平 雅之
.ガイドライン・患者登録		座長 : 吉田 邦広		
14:10	1-5	水澤 英洋	脊髄小脳変性症(SCD)・多系統萎縮症(MSA)診療ガイドラインの普及	水澤 英洋
14:25	1-6	宮井 一郎	脊髄小脳変性症・多系統萎縮症における病期の違いが短期集中リハ効果に与える影響	平松 佑一
14:40	1-7	高橋 祐二	運動失調症患者登録・自然歴調査 J-CAT	高橋 祐二
14:55	1-8	瀧山 嘉久	本邦の遺伝性痙性対麻痺の ITB 療法に関する全国多施設共同研究	一瀬 佑太
15:10-15:30		コーヒーブレイク		
III. 遺伝子		座長 : 小野寺 理		
15:30	1-9	石川 欽也	小脳失調症患者 797 症例における脊髄小脳失調症 8 型 (SCA8) の疾患頻度と内部リピート配列の解析	石川 欽也
15:45	1-10	阿部 康二	常染色体劣性遺伝性小脳変性症 (ARCA) の原因遺伝子同定に向けた当科の取り組み	山下 徹
16:00	1-11	田中 章景	脊髄小脳失調症を主徴とする ERCC4 変異例の臨床像	田中 章景

16:15	1-12	高嶋 博	小脳失調症の網羅的遺伝子診断	安藤 匡宏
-------	------	------	----------------	-------

16:30-17:00 「運動失調症の医療基盤に関する調査研究」 研究者会議				
---	--	--	--	--

2日目：平成30年1月12日(金) 9時00分～16時00分

時間	演題番号	研究者氏名	演題名	発表者
IV. 生理学的解析(1) 座長：田中 章景				
9:00	2-1	吉田 邦広	臨床応用に向けた3軸加速度計による失調性歩行の定量的評価法の構築	松嶋 聡
9:10	2-2	勝野 雅央	脊髄小脳変性症の運動機能解析による客観的指標の開発	橋詰 淳
9:25	2-3	佐々木 秀直	脊髄小脳変性症における歩行解析(第四報)	白井 慎一
V. 生理学的解析(2) 座長：花島 律子				
9:35	2-4	小野寺 理	iPadによる視標追跡課題を用いた小脳性運動失調の定量的評価～SCD患者における自然歴評価と治療効果判定～	他田 正義
9:50	2-5	池田 佳生	赤外線深度センサーを用いた定量的運動失調評価法の検討	塚越 設貴
10:05	2-6	宇川 義一	脊髄小脳変性症の眼球運動_定量的評価を目指す試み	寺田 さとみ
10:20-10:40 コーヒーブレイク				
VI. 多系統萎縮症(1) 座長：池田 佳生				
10:40	2-7	辻 省次	統一多系統萎縮症評価尺度の日本語版の作成と信頼性・妥当性について	近田 彩香
10:55	2-8	桑原 聡	MSA診断に適切な自律神経機能評価(第2報)	山中 義崇
11:10	2-9	武田 篤	多系統萎縮症における認知機能評価	菊池 昭夫
VII. 多系統萎縮症(2) 座長：勝野 雅央				
11:25	2-10	花島 律子	多系統萎縮症患者におけるレム睡眠行動障害の特徴	野村 哲志
11:40	2-11	佐々木 秀直	多系統萎縮症における血漿 microRNA 発現量変化の検討	上床 尚
11:50	2-12	吉良 潤一	多系統萎縮症の病態形成における自然免疫の関与とバイオマーカーの探索	松瀬 大

12:05-13:00 昼 食

「運動失調症の医療基盤に関する調査研究」研究者会議

全国 SCD・MSA 友の会 挨拶

13:00 ~ 16:00

第 8 回小脳研究会 学術集会・総会

運動失調症の医療基盤に関する調査研究班
SCA31 前向き自然歴研究分科会 議事次第

日時 2018年1月12日(金) 7:30-8:45

場所 都市センターホテル 6階603

出席者 水澤英洋、高橋祐二、石川欽也、佐々木秀直、吉田邦広、池田佳生、小野寺理、田中章景、勝野雅央、花島律子、瀧山嘉久 高嶋博

協議事項

1. 目的・目標確認

将来治験に活用できる自然歴のデータを、SCA31(およびほかの対象疾患)で作成し、2019年3月の本班終了時点で1年間の観察結果を公表(誌上公開)すること。また、可能であればこのグループで本班終了後も継続して追跡したい。

2. ロードマップ(別紙)

3. 将来構想:現時点では将来の治験に用いる有効性判定指標を目指す。また、血液・髄液・画像検査などでのバイオマーカー探索の基盤形成を2年間で行いたい。

4. 対象疾患:(1)SCA31だけにするか、(2)SCA31+SCA6やCCAを可能な限り調査するとするか。他疾患は代表者を設定していただいても良いと考えます。

5. 登録:JCATに登録して追跡をする。血液検体は、できるだけ送付いただくが必須とはしないことにしたい。

6. プロトコール:観察内容について

SARA、9HPT、mRS

歩行:10メートル歩行速度(全施設で可能。他疾患とも比較可能。)

歩行:メディサイエンス製機器で歩行を分析。北海道大学のプロトコールを使わせていただく。
解析などは北大が主導。 メリット:データ量が豊富で後に精密なデータが得られる。

デメリット 10個程度と数に限りがある。メディサイエンスが製造を中止しており、将来医師主導治験をする時に活用できない可能性もある。

対案がございましたらお教えてください。

歩行不能の方のADL評価法:良い案がございましたらお教えてください。

施設独自の研究は自由に併行してお進め頂きたい(例:プリズム検査での評価)

7. 観察

観察期間:2018年4月から2020年3月まで(その後も継続)。 2020年1月班会議で1年間の観察結果を公表したい。

観察間隔:(1)6ヵ月毎、(2)1年毎

8. 想定症例数：SCA31 100 例以上を目標としたい。見通しを立てるために 2018 年 8 月までに SCA31 患者、他疾患患者数を集計したい。
9. 倫理審査：医科歯科で承認を得たのち、皆様の施設にてお願いします。
10. その他・自由討議
 - 分科会の名称
 - 参加者の最終決定：ロードマップに記す時期までに決定。
 - 班員の施設以外から JCAT に登録されている対象疾患の患者さんをどう扱うか

平成 29 (2017) 年度 第 8 回小脳研究会 学術集会・総会

日時：2018 年 1 月 12 日 (金) 13:00~17:00

会場：砂防会館 (シェンバッハ・サボー) 別館1階「木曾」

[運動失調症班会議会場と同じ]

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4

TEL:03-3261-8386

<http://www.sabo.or.jp/kaikan-annnai.htm>

プログラム

- | | | |
|-------------|---|------|
| 13:00~13:05 | 小脳研究会の目的と歩み
国立精神・神経医療研究センター | 水澤英洋 |
| 13:05~13:55 | 小脳の高次機能：オーバービュー
のぞみ病院高次脳機能研究所 | 永雄総一 |
| 13:55~14:45 | 小脳と言語
東京大学大学院総合文化研究科 関連基礎科学系 | 酒井邦嘉 |
| 14:45~15:00 | 休憩 | |
| 15:00~15:25 | Ataxia with oculomotor apraxia type 1 (AOA1)
新潟大学脳研究所臨床神経科学部門神経内科学分野 | 小野寺理 |
| 15:25~15:50 | Ataxia with vitamin E deficiency (AVED)
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
認知行動医学講座 脳神経病態学 | 横田隆徳 |
| 15:50~16:15 | 常染色体劣性シャルルヴォア・サグネ型痙性運動失調症
(ARSACS)
山梨大学医学部神経内科学講座 | 瀧山嘉久 |
| 16:15~16:40 | 脆弱 X 関連振戦・運動失調症候群 (FXTAS)
順天堂大学医学部神経学講座 | 服部信孝 |
| 16:40~17:00 | 総会 | |

発起人：佐々木秀直、祖父江元、辻 省次、西澤正豊、水澤英洋

狩野方伸、川人光男、北澤 茂、杉原 泉、三品昌美

顧問：伊藤正男、篠田義一、御子柴克彦

連絡先：和田圭司

〒187-8551 東京都小平市小川東町 4-1-1

国立精神・神経医療研究センター

トランスレーショナル・メディカルセンター

電話：042-346-2124 FAX：042-346-2164

e-mail：wada@ncnp.go.jp

本学術集会は、小脳研究会と運動失調症の医療基盤に関する調査研究班との共催です。

運動失調症の医療基盤に関する調査研究班
リハビリテーション分科会 議事次第

日時：2018年11月19日(月)16:30~19:30

会場：八重洲倶楽部 第8会議室 <http://www.yaechika.com/club.php>

東京都中央区八重洲2丁目1番八重洲地下街地下2階

TEL：03-3275-0801

出席：水澤 英洋 国立精神・神経医療研究センター 理事長

宮井 一郎 社会医療法人大道会森之宮病院 法人副理事長・院長代理

早乙女貴子 国立精神・神経医療研究センター病院 身体リハビリテーション部

板東 杏太 国立精神・神経医療研究センター病院 身体リハビリテーション部

高橋 祐二 国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経内科診療部 部長

議題：

(1) リハビリテーションが有効な運動失調症

脊髄小脳変性症

多系統萎縮症

痙性対麻痺

(2) 運動失調症に対するリハビリテーション

具体的なメニュー

入院リハビリテーション

外来リハビリテーション

自宅でのリハビリテーション

(3) 運動失調症に対するリハビリテーションの現状

(4) 運動失調症に対するリハビリテーションの推進

その他

平成30年度 厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)
「運動失調症の医療基盤に関する調査研究」
研究報告会

会場：砂防会館(シェーンパッハ・サボー)別館1階「木曾」

1日目：平成31年1月10日(木) 13時00分～17時35分

時間	演題番号	研究者氏名	演題名	発表者
13:00		研究代表者 挨拶	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 水澤 英洋	
13:05-13:15		来賓 挨拶 厚生労働省健康局難病対策課・国立保健医療科学院FA事務局		
		I. 疫学・診断基準 (1) 座長：瀧山 嘉久		
13:15	1-1	金谷 泰宏	特定疾患治療研究事業により登録された運動失調症の症例解析について	金谷 泰宏
13:30	1-2	吉田 邦広	特発性小脳失調症(IDCA)の全国実態調査	中村 勝哉
13:40	1-3	高尾 昌樹	脳表ヘモジゲリン沈着症の診断基準の構築の実態調査	大平 雅之
		II. 疫学・診断基準 (2) 座長：金谷 泰宏		
13:55	1-4	石川 欽也	SCA34の遺伝疫学的調査	尾崎 心
14:10	1-5	花島 律子	鳥取大学における脊髄小脳変性症の遺伝型頻度に関する検討	清水 崇宏
14:25	1-6	高橋 正紀	本邦における反復発作性運動失調症の実態把握調査研究	久保田 智哉
		III. 患者登録・画像 座長：佐々木 秀直		
14:40	1-7	高橋 祐二	運動失調症患者登録・自然歴調査J-CATの現状と活用	高橋 祐二
14:55	1-8	大西 浩文	J-CATを活用した自然歴研究における予後分析方法についての考察	大西 浩文
15:10	1-9	勝野 雅央	難病指定医の経験の差による脊髄小脳変性症の画像所見読影の差異について	原 一洋
15:20-15:40		コーヒーブレイク		
		IV. 遺伝子・臨床像 座長：石川 欽也		
15:40	1-10	高嶋 博	軸索型ニューロパチーを伴う脊髄小脳変性症の新規原因遺伝子COA7の同定	樋口 雄二郎
15:55	1-11	小野寺 理	aprataxin遺伝子変異陰性例の臨床像の解析	横関 明男
16:05	1-12	佐々木 征行	孤発性小脳失調症を呈す小児で認められた脊髄小脳失調症(SCA)29の臨床像	佐々木 征行
		V. 治療 座長：花島 律子		
16:20	1-13	瀧山 嘉久	本邦の痙性対麻痺のITB療法に関する全国多施設共同研究計画	一瀬 佑太

16:35	1-14	宮井 一郎	短期集中リハビリテーションにおけるGoal Attainment Scale (GAS)の活用	平松 佑一
16:50	1-15	阿部 康二	Adrenomyeloneuropathyに対する同種骨髄移植の症例の経験	佐藤 恒太
17:05-17:35 「運動失調症の医療基盤に関する調査研究」 研究者会議 全国SCD・MSA友の会 挨拶				
2日目 : 平成31年1月11日(金) 9時00分～16時00分				
時間	演題番号	研究者氏名	演題名	発表者
IV. 生理学的解析 (1)		座長 : 宇川 義一		
9:00	2-1	田中 章景	小脳障害による錯視の知覚変化についての検討	東山 雄一
9:15	2-2	吉田 邦広	3軸加速度計による失調性歩行の定量的評価: 時系列データの解析	松嶋 聡
9:25	2-3	小野寺 理	短期集中的な上肢視標追跡課題訓練による上肢協調性の変化	田畑 智
V. 生理学的解析 (2)		座長 : 武田 篤		
9:35	2-4	池田 佳生	赤外線深度センサーを用いた定量的運動失調評価法の検討 - 第2報 -	塚越 設貴
9:50	2-5	勝野 雅央	脊髄小脳変性症の運動機能解析による客観的指標の開発	橋詰 淳
10:00	2-6	宇川 義一	脊髄小脳変性症の眼と手の協調関係	寺田 さとみ
10:15-10:35		コーヒープレイク		
VI. 多系統萎縮症 (1)		座長 : 吉良 潤一		
10:35	2-7	辻 省次	多系統萎縮症患者の自然歴調査	近田 彩香
10:50	2-8	桑原 聡	多系統萎縮症の診断における適正な起立性低血圧判定基準の策定	山中 義崇
11:05	2-9	佐々木 秀直	多系統萎縮症における歩行解析	白井 慎一
VII. 多系統萎縮症 (2)		座長 : 高橋 祐二		
11:15	2-10	武田 篤	MAO-B選択的PETトレーサーの開発と多系統萎縮症患者への応用	菊池 昭夫
11:30	2-11	佐々木 秀直	多系統萎縮症・パーキンソン病における血漿microRNA発現量変化の検討	上床 尚
11:40	2-12	吉良 潤一	多系統萎縮症の病態形成における自然免疫の関与とバイオマーカーの探索	松瀬 大
11:55-13:00 昼 食 「運動失調症の医療基盤に関する調査研究」 研究者会議				
13:00～16:00	第8回小脳研究会 学術集会・総会			

運動失調症の医療基盤に関する調査研究班
第3回 MSA 分科会 議事次第

日時：2019年1月10日（木）17：40（班員会議終了後）～20：50
会場：砂防会館（シェーンバッハ・サボー）別館2階 特別会議室

出席：水澤英洋、佐々木秀直、辻 省次、桑原 聡、
伊藤瑞規、原 一洋、高橋祐二

欠席：勝野雅央

(敬称略、順不同)

資料：

1. 前回議事要旨
2. 現行のMSA指定難病診断基準、臨床調査個人票
3. 臨床調査個人票診断カテゴリー改訂案

議題：

1. 前回議事要旨
2. 臨床調査個人票診断カテゴリーの当面の改良
3. その他

運動失調症の医療基盤に関する調査研究班
自然歴等個別疾患研究分科会 議事次第

日時：平成 31 年 1 月 11 日（金）7:30 - 8:45

場所：都市センターホテル 6 階 603 号室
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1
TEL：（03）3265-8211 FAX：（03）3262-1705

出席：水澤英洋、石川欽也、池田佳生、小野寺理、勝野雅央、佐々木秀直、
瀧山嘉久、高橋祐二、田中章景、辻省次、花島律子、吉田邦広
（順不同、敬称略）

欠席：吉良潤一、高嶋 博（順不同、敬称略）

議事

1．前回議事要旨

2．進捗状況報告
SCA31：石川委員
IDCA：吉田委員

3．今後の方針

4．その他

平成 30(2018)年度 第 9 回小脳研究会 学術集会・総会

日時：2019 年 1 月 11 日（金）13：00～16：00

会場：砂防会館（シェーンバッハ・サボー）別館1階「木曾」

[運動失調症班会議会場と同じ]

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4

TEL:03-3261-8386

<http://www.sabo.or.jp/kaikan-annai.htm>

プログラム

- | | | |
|-------------|---|-------|
| 13：00～13：05 | 小脳研究会の目的と歩み
国立精神・神経医療研究センター | 水澤英洋 |
| 13：05～14：05 | 小脳の運動機能と非運動機能：マウスを用いた研究
山梨大学大学院総合研究部神経生理学 | 喜多村和郎 |
| 14：05～14：35 | モーションキャプチャー技術を応用した小脳失調症状
の定量評価
東京都医学総合研究所運動障害プロジェクト | 本多武尊 |
| 14：35～14：50 | 休憩 | |
| 14：50～15：50 | 小児期の運動失調症
国立精神・神経医療研究センター小児神経診療部 | 佐々木征行 |
| 15：50～16：00 | 総会 | |

発起人：佐々木秀直、祖父江元、辻 省次、西澤正豊、水澤英洋

狩野方伸、川人光男、北澤 茂、杉原 泉、三品昌美

顧問：伊藤正男、篠田義一、御子柴克彦

連絡先：和田圭司

〒187-8551 東京都小平市小川東町 4-1-1

国立精神・神経医療研究センター

神経研究所

電話：042-346-1711 FAX：042-346-1741

e-mail：wada@ncnp.go.jp

本学術集会は、小脳研究会と運動失調症の医療基盤に関する調査研究班との共催です。

運動失調症の医療基盤に関する調査研究班
小脳高次機能分科会 議事次第

日時：令和2年1月9日（木）10:30 - 12:30

場所：砂防会館（シェーンバッハ・サボー）別館B 蔵王会議室
〒102-0073 東京都千代田区平河町2-7-4
TEL : (03) 3261-8386 FAX : (03) 3261-5449

出席：水澤英洋、武田克彦、田中章景、板東杏太、高橋祐二
（順不同、敬称略）

資料

1. 小脳と高次機能（スライド原稿）
2. CCAS スケール日本語訳

議事

1. 小脳の高次機能と小脳疾患におけるその障害
2. 簡易型小脳性認知・情動症候群スケール [cerebellar cognitive affective/syndrome scale(Schmahmann)]
3. その他

2019年度 厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）
「運動失調症の医療基盤に関する調査研究」
研究報告会

会場：砂防会館（シェーンバウハ・サボア）別館1階「木曾」

1日目：2020年1月9日（木） 13時00分～17時45分

時間	演題番号	研究者氏名	演題名	発表者
13:00		研究代表者 挨拶 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター		水澤 英洋
13:05-13:15		来賓 挨拶 国立保健医療科学院・厚生労働省大臣官房厚生科学課 武村 真治		
		I. 疫学・診断基準 座長：田中 章景		
13:15	1-1	金谷 泰宏	特定疾患治療研究事業により登録された運動失調症の症例解析について	金谷 泰宏
13:30	1-2	花島 律子	鳥取県における脊髄小脳変性症の臨床疫学調査	清水 崇宏
13:45	1-3	武田 克彦	小脳疾患における高次脳機能障害の評価について	武田 克彦
14:00	1-4	高尾 昌樹	脳表ヘモジデリン沈着症の診断基準の構築の実態調査	大平 雅之
		II. レジストリ・自然歴 座長：瀧山 嘉久		
14:15	1-5	高橋 祐二	運動失調症患者登録・自然歴調査J-CATの現状と活用	高橋 祐二
14:30	1-6	吉田 邦広	特発性小脳失調症（idiopathic cerebellar ataxia, IDCA）の全国調査 —第2報—	吉田 邦広
14:45	1-7	大西 浩文	J-CATを活用した自然歴研究における欠測データの取り扱いについての考察	大西 浩文
15:00	1-8	辻 省次	DRPLAに対する治験を目的としたnatural history研究及び臨床評価スケールの開発	山口 奈々香
15:15	1-9	辻 省次	多系統萎縮症の前向き自然歴調査	近田 彩香
15:30-15:45		コーヒープレイク		
		III. 運動失調評価法(1) 座長：吉田 邦広		
15:45	1-10	田中 章景	3Dモーションキャプチャーによる軽微な小脳性運動失調の解析	上田 直久
16:00	1-11	宇川 義一	脊髄小脳変性症など神経変性疾患での眼と手の協調関係	寺田 さとみ
16:15	1-12	勝野 雅央	脊髄小脳変性症の上肢運動機能解析による失調の定量的評価	岸本 祥之
		IV. 治療・リハビリテーション 座長：池田 佳生		
16:30	1-13	小野寺 理	ゲノム編集による遺伝子サイレンシングを用いたDRPLA治療戦略研究	安藤 昭一郎
16:45	1-14	瀧山 嘉久	痙性対麻痺のITB療法に関する全国多施設共同研究	一瀬 佑太

17:00	1-15	宮井 一郎	脊髄小脳変性症に対する短期集中リハビリテーションの標準化プログラム作成の試み	平松 佑一
17:15-17:45 「運動失調症の医療基盤に関する調査研究」 研究者会議 全国SCD・MSA友の会 挨拶				

2日目 : 2020年1月10日(金) 9時00分～12時05分

時間	演題番号	研究者氏名	演題名	発表者
V. 遺伝子 座長：小野寺 理				
9:00	2-1	阿部 康二	表現促進現象を認めたAsidan (SCA36) の1家系	表 芳夫
9:15	2-2	石川 欽也	後索性失調と前庭機能低下を伴う小脳失調症の1例について	石川 欽也
9:30	2-3	高嶋 博	脊髄小脳変性症の臨床的・遺伝学的検討 -COA7遺伝子異常による臨床的多様性を中心に-	樋口 雄二郎
9:45	2-4	佐々木 征行	小児期発症孤発性小脳性運動失調症の遺伝学的解析と小脳萎縮について	佐々木 征行
VI. 運動失調評価法(2) 座長：桑原 聡				
10:00	2-5	水澤 英洋	プリズム順応を用いた小脳機能検査PAT (Prism Adaptation Test) の多施設共同研究と深度センサーによるdigital SARA	水澤 英洋 本多 武尊
10:15	2-6	池田 佳生	赤外線深度センサーを用いた定量的運動失調評価法の検討-第3報-	塚越 設貴
10:30	2-7	佐々木 秀直	多系統萎縮症における歩行解析	白井 慎一
10:45-11:00 コーヒーブレイク				
VII. 診断・バイオマーカー 座長：勝野 雅央				
11:00	2-8	下畑 享良	二次性運動失調症の鑑別 -自己免疫性小脳失調症の検討-	下畑 享良
11:15	2-9	桑原 聡	MSA-Ciにおいて“Hot cross bun” signは起立性低血圧よりも早期に出現する	杉山 淳比古
11:30	2-10	武田 篤	MAO-B選択的PETトレーサーの多系統萎縮症患者での検討	江面 道典
11:45	2-11	吉良 潤一	多系統萎縮症の病態形成における自然免疫の関与とバイオマーカーの探索	松瀬 大
12:00-12:05	研究代表者 挨拶 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 水澤 英洋			

厚生労働科学研究費補助金 運動失調症の医療基盤に関する調査研究班
リハビリテーション分科会 議事次第

日時：2020年1月9日（木）18：00*～19：00

* 班員会議（17：15～17：45）が終わり次第、同じ会場で開始の予定です。

場所：砂防会館（シェーンバッハ・サポー）別館1階「木曾」

〒102-0073 東京都千代田区平河町2-7-4

TEL：（03）3261-8386 FAX：（03）3261-5449

出席：水澤英洋	国立精神・神経医療研究センター理事長
宮井一郎	社会医療法人大道会森之宮病院法人副理事長・院長代理
水野勝弘	国立精神・神経医療研究センター病院身体リハビリテーション部部長
板東杏太	国立精神・神経医療研究センター病院身体リハビリテーション部理学療法士
高橋祐二	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科診療部長

欠席：なし

（順不同、敬称略）

資料

- （1）前回議事要旨
- （2）アンケート結果
- （3）推奨メニュー案

議事

- （5）前回の議事要旨
- （6）アンケートの結果

推奨メニュー

**運動失調症の医療基盤に関する調査研究班
自然歴等個別疾患研究分科会 議事次第**

日時：令和2年1月10日（金）7:30 - 8:45

場所：都市センターホテル6階 603号室
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1
TEL : (03) 3265-8211 FAX : (03) 3262-1705

出席：水澤英洋、表芳夫、池田佳生、石川欽也、小野寺理、勝野雅央、
松瀬 大（吉良潤一、代理）、佐々木秀直、高嶋博、瀧山嘉久、
田中章景、辻省次、花島律子、吉田邦広、下畑享良、石浦浩之、
山口奈々香、高橋祐二
（順不同、敬称略）

議事

1．前回議事要旨

2．進捗状況

SCA1

SCA31

DRPLA

MSA

IDCA/CCA

二次性運動失調症

自己免疫性小脳失調症

SCA global

ARCA global

3．その他

第 10 回小脳研究会 学術集会・総会

日時：2020年2月15日(土) 13:00~17:10

会場：国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
研究所3号館1階セミナールーム

センターへのアクセス：<https://www.ncnp.go.jp/access/index.html>

センター内マップ：<https://www.ncnp.go.jp/map/index.html>

プログラム

13:00~14:00 小脳システム研究会合同シンポジウム(別紙参照)

14:00~14:30 脳の形作りにおけるリーリンの機能 -大脳皮質発生を例として-
慶応義塾大学医学部解剖学
仲嶋一範

14:30~15:00 小脳機能の基礎研究：現状と展望
国立精神・神経医療研究センター神経研究所微細構造研究部
山口和彦

15:00~15:30 小脳の疾患・障害-とくに変性疾患について-
東京医科歯科大学医学部附属病院長寿・健康人生推進センター
石川欽也

15:30~15:45 休憩

15:45~16:15 小脳疾患・障害の診断と治療
新潟大学脳研究所臨床神経科学部門神経内科学
小野寺理

16:15~16:45 小脳研究会の経緯と独立化
国立精神・神経医療研究センター
水澤英洋

16:45~17:10 総会

連絡先：和田圭司、村上美和子(事務担当)

〒187-8551 東京都小平市小川東町4-1-1

国立精神・神経医療研究センター 神経研究所

電話：042-346-1711、FAX：042-346-1741

e-mail：wada@ncnp.go.jp; murakami@ncnp.go.jp

後援

運動失調症の医療基盤に関する調査研究班
(厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業)

(別紙)

小脳システム研究会合同シンポジウム

小脳基礎研究の最前線

13:00~13:05 挨拶

13:05~13:25 小脳の神経生理学から見た運動の制御・学習とその異常のメカニズム
東京都医学総合研究所
石川享宏

13:25~13:45 大規模イメージングで解き明かす小脳のリズムと情報表現
理化学研究所光量子工学研究センター
道川貴章

13:45~14:00 基礎と臨床のスクランブルスクエアを目指したクロストーク
司会 本多武尊 (東京都医学総合研究所)

座長 菊地 豊 (脳血管研究所附属美原記念病院)

パネリスト

石川享宏 (東京都医学総合研究所)

道川貴章 (理化学研究所光量子工学研究センター)

松木 明好 (四條畷学園大学)

